切磋琢磨

御幸中学校
３年学年だより
令和５年 10 月 11 日(水)
第 10 号

「竜騰虎闘」～互いに力を尽くし絆を深めよう！

雨で一日遅れとなりましたが、約１ヶ月間取り組んできた運動会が終わりました。まずは準備からスタート。でも、みんなは本当に率先して動き、笑顔があふれ、各自が持てる力を十分に発揮できた運動会だったと思います。大きな行事が１つ終わり、成長したところが一人ひとりにあります。次は文化祭と合唱コンクール！まだまだ、変化し続けるみんなに期待しています！

〔３年Ｂ組編〕

Ｂ組　Ｎ．Ｙ

今年の運動会で、私は声を意識しました。今年は中学校最後の運動会で、「楽しみたい」という思いが強かったです。だから練習の時もみんなで応援したり声を掛け合ったりすることができました。

今年は綱引きがあって、学年だけじゃなくて『団で戦う』みたいな意識が強かったので、１，２年生とも話したり励まし合ったりすることができました。声を意識したことで、普段より少しだけ社交的になれた気がして、自分に自信を持つことができました。自分に自信がついたことで運動会でははっちゃけて楽しむことができました。今回の運動会を通して、自分にとっての声の重要性が少しわかったような気がします。なので、これからは声を意識して人と話したいです。そして、声だけでなく言葉もしっかり選んでから話すことも大切だとわかったので言葉も意識したいです。

Ｂ組　Ｈ．Ｎ

３年間運動会をやってわかったことは、楽しむことが一番大事だということです。もちろん勝敗も大事ですが、楽しまなければ、勝っても負けても「よかった」とあまり思えないかもしれません。さらに、準備段階から楽しむことも大事です。僕は楽しめたおかげで、学年種目、総合が全敗だったけれど、「よかった」と思える運動会でした。来年は御幸中には居ないけれど、１，２年生で楽しい運動会を作っていってほしいです。

Ｂ組　Ｍ．Ｒ

私は今年の運動会を通して、団をまとめることの大変さをすごく思い知らされました。私は初めて団リーダーになり、最初は団をまとめたりダンスを教えたりするだけなら簡単だろうと思っていました。しかし、いざやってみると、思い通りに行かないことがたくさん出てきたり、いろいろもめることが多くなったりとすごく大変でした。でも、団役員の中で話し合いを進めていくうちに、意見がまとまり、団活動もスムーズに進んでいくようになりました。団ダンスをつくるときから、全員が最初からそろうことは少なく、一部の人が考えて後から来た人に教えるというやり方をしていたため、時間がかかってしまいました。でも完成したダンスは、想定よりも難しくなっていたものの、自分たちが思っている以上の最高のダンスに仕上がったと思います。本番は応援も競技も、どちらも負けてしまったけれど、みんなが楽しそうに競技をしているところや、一生懸命応援している姿が見られたのでよかったです。正直悔しいけれど、勝ち負けよりも大切なことが学べたと思うので後悔はありません。今はこんな頼りない団役員についてきてくれたみんなに感謝の気持ちを伝えたいです！

Ｂ組　Ｋ．Ａ

私は運動会を通して、改めて赤団の絆を感じました。一番絆を感じた場面は応援です。１年生、２年生、３年生の声が出ていました。そして最後のリレーでは、リレーに出ない人みんなが自分の椅子からたってテントの前の方に来て、体を使いながら大きな声を出すことができていて、リレーが終わると、「もう終わってしまうのか」と悲しくなりました。それくらいみんなで楽しく応援することができました。応援の部も勝ったのは青団でしたが、私は赤団の方がよかったと思っています。今年は中学校生活最後の運動会でしたが、とても楽しかったです。良い思い出になりました。

Ｂ組　Ｙ．Ｈ

運動会で頑張ったことは、1、2 年生をひっぱっていくことです。僕は団リーダーではないけれど、3 年生として、団リーダー関係なく 1、2 年生に指示したりわからないところを教えたりすることができたのでよかったです。運動会の結果は、総合も応援の部も負けてしまい完敗でした。でも、スローガンの通り、赤団全員との仲が深まったと思います。勝負関係なく、赤団のみんなが協力して楽しい運動会になったなら、僕はそれでよいと思います。運動会が終わって、1，2 年生との交流も減るかも知れないけれど、合唱コンクールや文化祭など行事はまだあるので、運動会で得ることのできた 1，2 年生との絆を忘れず、協力し合ってこれからの学校生活もやっていけたらいいなと思います。